NEWS RELEASE

名古屋市東区東桜一丁目 1 番 1 号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

2025 年 12 月 17 日

各 位

日本特殊陶業株式会社

CDP 気候変動分野の情報開示において 最高評価である A リストに選定

Niterra グループ日本特殊陶業株式会社（社長：川合 尊、本社：名古屋市東区）は、CDP の気候変動に関する調査において、気候変動に対する取り組みとその情報開示が評価され、「A リスト」※1 に選定されましたので、お知らせいたします。



CDP は、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家などの要請に基づき、企業や自治体に気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、またそれを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非営利組織です。

CDP2025 気候変動質問書を通じて報告されたデータに基づき、当社グループはスコアリング対象となった 22,100 社を超える企業のうち、「A」スコアを達成した企業のうちの 1 社となりました。

当社グループは企業理念、CSR・サステナビリティ憲章のもと、「長期経営計画 2030」の中で、気候変動への対応を優先的に取り組む経営課題の社会的課題解決の中のひとつのテーマに取り上げるとともに、2050 年カーボンニュートラルを目指すことを前提に 2030 年、2035 年の中長期の

名古屋市東区東桜一丁目１番１号
アーバンネット名古屋ネクスタビル

CO2削減目標を設定し、作成したロードマップに沿ってグループ全体で取り組みを進めています。

今後も引き続き、環境分野をはじめとする ESG 全般に対するサステナビリティ経営に取り組み、“特殊な”技術と発想で社会的課題を解決し、「地球を輝かせる企業」を目指してまいります。

●当社のサステナビリティに関する取り組み
https://www.sustainability.niterragroup.com/ja/
●ESG に関する社外からの評価
https://www.sustainability.niterragroup.com/ja/themes/190/

※１：評価対象の企業には、A、A⁻、B、B⁻、C、C⁻、D、D⁻のうちいずれかのスコアが付与され（情報開示を行わない、あるいは十分な情報を提供しない企業は F）、最高ランクの A を獲得した企業が「A リスト」に選定されます。

以上